



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL http://www.ai-j.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ統括 (氏名) 古澤 仁 TEL 03 (6801) 8461
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	489	19.0	132	28.8	120	15.6	91	22.7
30年3月期第3四半期	411	—	103	—	104	—	74	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	19.04	18.14
30年3月期第3四半期	17.24	—

- (注) 1. 平成30年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成31年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 当社は、平成30年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成31年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの当社株式は平成30年3月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,107	1,034	93.4
30年3月期	796	692	86.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,034百万円 30年3月期 692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	680	15.0	166	13.1	166	12.3	115	5.3	23.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,926,000株	30年3月期	4,721,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	28株	30年3月期	67,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,831,346株	30年3月期3Q	—株

（注）当社は、第3四半期の業績開示を平成31年3月期より行っているため、平成30年3月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、自然災害により経済活動が一時的に弱くなったものの、災害の影響が終息するとともに持ち直しました。また、企業収益や雇用環境の改善が設備投資や個人消費動向に波及し、内需が堅調に推移する等、景気は緩やかに回復を続けています。一方で、外国政府間の通商問題や世界経済の減速が日本経済に影響する懸念が高まりつつあります。

当社が属する音声合成市場におきましては、電話自動応答システム、カーナビ、防災行政無線、スマートフォン音声対話などの利用用途から、AI（人工知能）の品質向上によるPepperをはじめとしたコミュニケーションロボット、コールセンターのオペレータ業務の自動化、車載器への対話システムなどの対話型利用用途へと変化しております。また、東京オリンピック、観光客の増加に伴う外国人への情報提供手段としての利用用途も見込まれており、堅調に推移しております。

音声合成市場には、多くのサービス事業、アプリケーションが投入され、競争が激化しており、より品質の高い技術を投入するために研究開発費、製品開発費が増加する傾向にありますが、当社では今後更なる成長機会と捉えて、「音声技術の応用サービス化を通して、音声技術の新しい文化を創出し、生活文化の向上に貢献すること」に引き続き注力してまいります。

このような事業環境の中で、当第3四半期累計期間の音声合成事業は、法人向けサービス、コンシューマー向け製品のパッケージ販売が順調に推移した結果、売上高489,481千円（前年同期比19.0%増）、営業利益132,804千円（同28.8%増）、経常利益120,472千円（同15.6%増）、四半期純利益91,974千円（同22.7%増）となりました。

なお、当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、特性に応じた3つの区分につきましては、法人向け製品販売257,321千円（前年同期比1.9%減）、法人向けサービス収入151,088千円（同63.6%増）、コンシューマー向け製品販売81,071千円（同42.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末と比較して310,472千円増加し、1,107,403千円となりました。これは主に、ソフトウェアが7,448千円減少したものの、公募による新株の発行、第三者割当増資及び自己株式の処分等により現金及び預金が315,688千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して31,659千円減少し、73,076千円となりました。これは主に、賞与引当金が4,706千円増加したものの、買掛金が8,047千円、流動負債「その他」に含まれる未払金が12,738千円、未払費用が2,751千円、預り金が7,960千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して342,131千円増加し、1,034,327千円となりました。これは、公募による新株の発行、第三者割当増資及び自己株式の処分等により資本金が94,300千円、資本剰余金が152,590千円増加、自己株式が3,268千円減少し、四半期純利益の計上により利益剰余金が91,975千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年6月27日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	636,037	951,725
売掛金	91,472	96,532
仕掛品	1,450	7,605
原材料及び貯蔵品	602	1,194
その他	17,132	10,021
流動資産合計	746,695	1,067,079
固定資産		
有形固定資産	13,321	11,566
無形固定資産		
ソフトウェア	21,445	13,997
無形固定資産合計	21,445	13,997
投資その他の資産	15,467	14,760
固定資産合計	50,235	40,324
資産合計	796,931	1,107,403
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,002	2,955
リース債務	758	782
未払法人税等	19,885	16,058
前受収益	12,186	12,619
賞与引当金	—	4,706
その他	56,419	32,969
流動負債合計	100,252	70,091
固定負債		
リース債務	3,289	2,700
長期前受収益	1,192	285
固定負債合計	4,482	2,985
負債合計	104,735	73,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,801	138,101
資本剰余金	40,165	192,755
利益剰余金	611,578	703,553
自己株式	△3,350	△82
株主資本合計	692,196	1,034,327
純資産合計	692,196	1,034,327
負債純資産合計	796,931	1,107,403

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	411,484	489,481
売上原価	106,007	97,214
売上総利益	305,476	392,267
販売費及び一般管理費	202,329	259,462
営業利益	103,147	132,804
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	4
講演料収入	30	131
補助金収入	1,000	—
営業外収益合計	1,033	136
営業外費用		
支払利息	—	117
為替差損	9	43
株式交付費	—	2,922
株式公開費用	—	9,385
営業外費用合計	9	12,468
経常利益	104,171	120,472
税引前四半期純利益	104,171	120,472
法人税、住民税及び事業税	29,631	27,652
法人税等調整額	△432	846
法人税等合計	29,198	28,498
四半期純利益	74,972	91,974

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社は、当第3四半期累計期間において新株予約権の行使請求に伴い新株式680,000株を発行致しました。

また、平成29年9月27日開催の臨時株主総会決議に基づき、平成29年9月28日付で、第三者割当による自己株式100,000株の処分を実施致しました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金が13,600千円増加、資本剰余金が29,600千円増加、自己株式が5,000千円減少し、当第3四半期会計期間末において資本金が43,801千円、資本剰余金が40,165千円、自己株式が3,350千円となっております。

II 当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社は、平成30年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成30年6月26日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行120,000株及び自己株式の処分67,000株により、資本金が55,200千円、資本剰余金が113,490千円増加し、自己株式が3,350千円減少しております。

また、当社は、平成30年7月27日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行により、普通株式が85,000株増加し、資本金が39,100千円、資本剰余金が39,100千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金138,101千円、資本剰余金192,755千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。